

ニセショウロ *Scleroderma aurantiun*

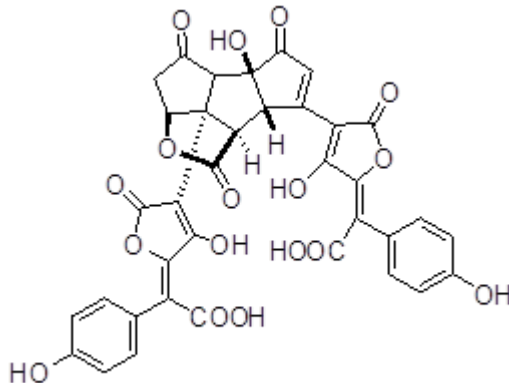
ニセショウロ科ニセショウロ属

概要

地方名	
傘の大きさ	小型から中型
形と色	黄土色から褐色で球形をしている。断面は黒色で、柄はほとんどない。
発生時期	夏～晩秋
発生場所	地上に群生する。
その他	形状が球形で、特徴がないため、食用のものとの区別が難しい。
症状	食後 30 分から数時間で嘔吐、下痢、腹痛を起こす。
毒性成分	毒成分は不明であるが、スクレロシトリン色素などを含む。
間違いやすい食用きのこ	

詳細

1 特徴

(1) 毒性成分*1	(成分名) スクレロシトリン (Sclerocitrin)
	(構造式)  sclerocitrin
	スクレロシトリンを含有するが、詳しい毒性は明らかではない。
(2) 食中毒の型	胃腸消化器系
	(毒性成分の含量)
	(毒性発現機構)
(3) 中毒症状*2	嘔吐, 下痢, 腹痛など消化器系の中毒症状
(4) 発症時間	食後 30 分から 2~3 時間程度
(5) 発症事例	(症例 1) 平成 20 年 (2008 年) 福岡県で女性が誤ってニセシヨウロを摂取し、 激しい腹痛, 下痢, 嘔吐の症状を示した。
	(症例 2)
	(その他)
(6) 中毒対策	

2 毒性成分の分析法

毒性物質が明らかでないため、分析法はなし。

(1)	説明
	(図解)

3 その他

諸外国での状況	
参考になる情報*1	よく似たニセシヨウロ科にはヒメカタシヨウロ (<i>Scleroderma lycoperdoides</i>), ハマニセシヨウロ (<i>Scleroderma bovista</i>) などがある。いずれも有毒である。

4 間違えやすい食用きのこ

1*1	一般名	ショウロ
	学名	<i>Rhizopogon roseolus</i>
	発生場所	
	発生時期	
	形態	

引用・参考文献

1) 長沢栄史. 「フィールドベスト図鑑 14 日本の毒きのこ」(株) 学習研究社

2)

Winner M, Gime'nez A, Schmidt H, Sontag B, Steffan B, Steglich W.: Unusual Pulvinic Acid Dimers from the Common Fungi *Scleroderma citrinum* (Common Earthball) and *Chalciporus piperatus* (Peppery Bolete), *Angewandte Chemie International Ed.* 43, 1883 - 1886 (2004).

Gill M.: Pigments of fungi (Macromycetes), *Nat. Prod. Rep.*, 20, 615-639 (2003).